

「ブラック・ジャックセミナー」を開催しました

消化器・総合外科 診療科長 たじま よしつぐ
田島 義証

「将来の医療人を育む」ことを目標に、出雲市内の中学2・3年生を対象にした「ブラック・ジャックセミナー」を2012年から開始し、本年10月24日に第4回目を開催しました。本セミナーでは、私達外科医が日頃行っている手術時の手洗い・ガウン装着や、超音波凝固切開装置・自動縫合器等の手術機器使用体験、あるいは手術シミュレーター体験等を通じて最新の医療にふれる機会を提供しています。何よりも尊い「人の命」を救う医師・看護師の仕事にふれ、一人でも多くの子供たちが将来の日本の医療を支える志を持つきっかけになることを願っています。手術室の2部屋を使用し、毎年20～40名の中学生が参加しています。今回は新たな試みとして「気管内挿管」のコーナーを設けました。気管内挿管は容易な手技ではありませんが、悪戦苦闘しながらも挿管に成功した子供達には満面の笑みがこぼれていました。病院長をはじめ、ご理解とご協力を頂いております手術部の皆様、ボランティアの医学生の方々に感謝申し上げます。



島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

12月15日～1月14日

対象者： 一般 一般市民 医療 医療関係者 本学 本学教職員・学生

開催日	時間	場所(★印 学外開催)	対象者	開催名
12/15(火)	9:30～11:30	外来・中央診療棟3階 カフェテリア・だんだん	一般	平成27年度 島根県がんビ・アサ・ター相談会
12/16(水)	17:30～19:00	外来・中央診療棟2階 クリニカル・センター	看護師 助産師	急変時対応セミナー
12/17(木)	18:00～18:50	外来・中央診療棟3階 カフェテリア・だんだん	医療 本学	平成27年度 医療機器の安全使用のための研修会および第1回病院医学教育研究成果報告会
12/17(木)	18:00～19:30	臨床講義棟1階 臨床小講堂	医療・保健・福祉関係者	第1回地域医療連携セミナー 「地域包括ケアシステムを知る」
12/18(金)	15:30～16:30	病棟2階 レストラン「ランチカフェアパン」	一般	平成27年度 第3回肝臓病教室
12/18(金)	16:30～17:30	病棟2階 レストラン「ランチカフェアパン」	一般	平成27年度 第3回家族支援講座
12/18(金)	18:00～19:30	外来・中央診療棟2階 クリニカル・センター	医療 本学	心電図「すこし突っ込んだ話」第5回HOLTERで何を見たいの？
12/19(土)	10:00～16:00	★浜田医療センター2階 総合研修センター	医療	平成27年度 島根県がん相談員等地区研修会(西部)

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



Shimane University Hospital
島根大学医学部
島根大学医学部

2015年
12月
Vol.26

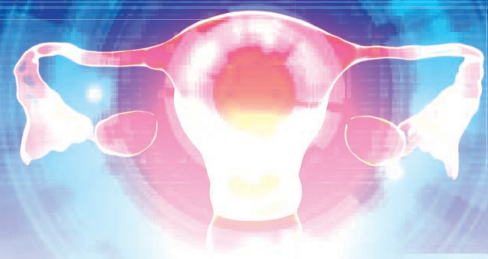
NEWS



CONTENTS

- ・「腹腔鏡下広汎子宮全摘術」を開始しました
- ・「ブラック・ジャックセミナー」を開催しました
- ・腹腔鏡手術への3D(立体構築画像)カメラ内視鏡システムの導入
- ・島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

先進医療の取り組み



産科・婦人科

外来TEL 0853-20-2389
医局TEL 0853-20-2268
FAX 0853-20-2264

「腹腔鏡下広汎子宮全摘術」を開始しました

産科・婦人科 診療科長 京 哲

子宮頸癌に対する手術は、通常の子宮摘出術とは異なり、頸部（入り口の部分）の周囲を幅広く摘出する広汎子宮全摘術が行われます。本手術は骨盤底の操作が困難であることなどから出血量が多くなり、輸血も高頻度に必要になります。また下肢のリンパ浮腫の発生や腹部の大きな切開創など患者さんに相当な負担を強いる手術であり、より低侵襲な腹腔鏡下手術の適応が長らく望まれていました。

最近の内視鏡機器および技術の進歩により、腹腔鏡下広汎子宮全摘術が平成 26 年 12 月に先進医療に認定されました。現在までに国内で15施設が本手術に対する施設認定を受けております。当院では平成 27 年 10 月より所定の条件を全て満たすことにより西日本（大阪を除く）の大学病院としては唯一、本手術の施設認定を受けましたのでご報告致します。

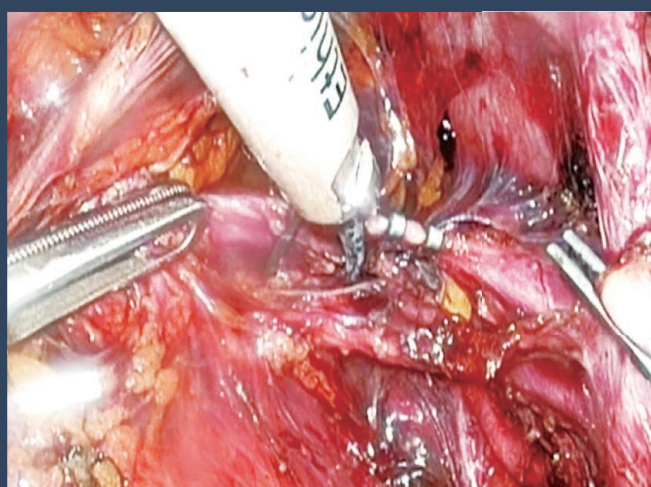
通常の広汎子宮全摘術が約3週間の入院を要するのに対し、腹腔鏡下広汎子宮全摘術は1週間程度の入院で済みます。出血量も概ね 200-300ml 以下で、中には 100ml 以下で完遂できる例もあります。手術翌日より歩行も可能です。先進医療認定により、これまで全額自費負担であった治療費は、手術費用を除く入院費用が保険請求できることとなり、大幅な負担軽減となります。先進医療特約付きの保険にお入りの患者さんでは手術費用も給付の対象となります。本手術の詳細につきましては当院産科・婦人科まで遠慮なくお問い合わせ下さい。

先進医療料

・患者さん1人当たり 461,000円



腹腔鏡下手術後の術創



骨盤底の鉗子操作

問合せ先 産科・婦人科外来 TEL 0853-20-2389

消化器外科

外来TEL 0853-20-2384
病棟TEL 0853-20-2494
医局TEL 0853-20-2232
FAX 0853-20-2229

腹腔鏡手術への
3D(立体構築画像)カメラ内視鏡システムの導入

消化器外科 診療科長 平原 典幸

本年10月、臓器の立体観察が可能な外科手術用3D内視鏡システムを2機導入しました。本3D内視鏡システムを2機備える施設は中四国地区では初めてとなります。

3Dカメラの特徴

- ① 奥行きのある3D映像で、対象臓器の立体的な空間把握が可能
- ② 外科手術用3Dカメラとしては世界初の先端湾曲機能を搭載
- ③ 広範囲にピントが合いやすく、広角視野の描出が可能

3Dカメラの効果

- ① 解剖がわかりやすい⇒安全性の向上
- ② 奥行き感がわかりやすい⇒安心感の増加
- ③ 縫合操作が容易⇒正確性の向上と高難度手術を可能にする
- ④ ラーニングカーブが上昇⇒教育的効果が高い



3D内視鏡システムの導入により手術精度が向上し、がん治療の成績向上、合併症の軽減、在院日数の短縮、更には医療費の削減が期待されます。これまでに食道癌、胃癌、大腸癌、肝癌、胆石症、ヘルニア等の手術を行いましたが、その有用性を実感しています。今後、よりリアリティーのある視野での安全でかつ患者さんへ優しい手術を行っていきたいと考えています。

問合せ先 消化器・総合外科 TEL 0853-20-2232



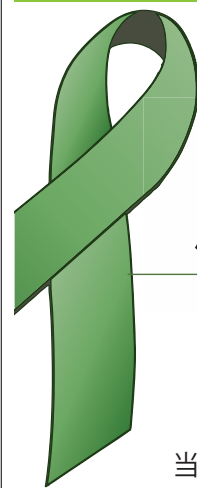
島大病院ニュース
2015年12月

お知らせ



島大病院ニュース
2015年12月

お知らせ



脳死腎移植と臓器提供

しいな ひろあき
泌尿器科 診療科長 椎名 浩昭
(腎移植認定医、移植認定医)

当院では今までに生体腎移植25例と献腎移植5例を行ってきましたが、本年10月9日に島根県で3例目となる脳死腎移植を透析歴の長い男性に行うことができました。術後経過は順調でご本人・ご家族はもとより、私たち移植医療に携わる人間も心から喜んでます。移植では免疫抑制剤を飲み続ける必要がありますが、血液透析に要する時間的束縛がなくなることの喜びは健康人の想像以上でしょう。

臓器提供は、脳死後あるいは心臓が停止した死後にできます。2010年の改正臓器移植法の全面施行により、意思表示が不明でも、ご家族の承諾があれば臓器提供は可能となり、15歳未満の方からの脳死後の臓器提供の道も開けました。自分が最期を迎えたときに、誰かの命を救うことができる、それが臓器提供の基本的な考え方なのです。

腎移植はいのちの贈り物です。移植医療は相手があって成り立つ善意に基づく医療です。今までの3例のうち1例のみが、島根県で提供された腎臓による脳死腎移植です。今後は島根県で臓器提供がなされるよう社会全体に積極的に啓発することが求められています。

問合せ先 泌尿器科・医局 TEL：0853-20-2253

運転免許証の裏側に 自分の意思を表示できます。

以下の部分を使用して臓器提供に関する意思を表示することができます(記入は自由です)。記入する場合は、1から3までのいずれかの番号を○で囲んでください。

- 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植のために臓器を提供します。
- 私は、心臓が停止した死後に限り、移植のために臓器を提供します。
- 私は、臓器を提供しません。

(1又は2を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。)
【心臓・肺・肝臓・腎臓(じん臓)・膵臓(すい臓)・小腸・大腸】

【特記事項：】 (自筆署名) (署名年月日) 年 月 日

万が一の時に、家族が迷わないように、意思表示しましょう。

提供する・提供しない どちらの意思も尊重されます。

- ① 自分の気持ちに○
- ② 提供をしない臓器に×
- ③ 自分でサイン
- ④ 書いた日付も忘れずに

【特記事項：】 (自筆署名) (署名年月日) 年 月 日

書いた意思はいつでも書き直すことができます。



「出雲風土神話食」を提供しました

出雲地方は日本有数の観光地であり、平成の大遷宮もあって出雲地方を舞台とした神話がより広く知られるようになりました。

島根大学は、全国でも初めての試みとして物語性(神話)と郷土料理を組み合わせたロゴ「出雲 food(フード)神話」を考案し商標登録しました。このロゴを活用する最初の事業として、特別メニュー「出雲風土神話食」を患者さんに提供しました。

この「出雲風土神話食」は、地元の食材を使用し、出雲神話の内容と展開に沿ったフランス料理です。フレンチレストランのシェフの協力のもと、調理は当院の委託業者日清医療食品の調理師が担当しました。3つの神話と料理を楽しんでいただけるよう、3日間連続して夕食時に料理を提供し、エネルギーや塩分量にも材料を工夫することで対応しました。

患者さんにとって病院での食事は、治療の一環でもあります。楽しみの一つでもあります。患者さんが笑顔になり、治療に向かう力となるような食事の取り組みを今後も行なっていきたいと考えています。

問合せ先 栄養治療室：0853-20-2074

ひらい じゅんこ
栄養治療室 室長 平井 順子



「スサノヲのヤマタノオロチ退治」
前菜：キッシュ
えびゼリー季節野菜添え



「オオクニヌシと因幡の白兔」
魚料理：ムースパイ包み
スープ：小松菜のスープ



「国引き神話」
肉料理：国引きローストポーク
デザート：モンブラン





島大病院ニュース
2015年12月

お知らせ

病院建物内外の散歩コースについて

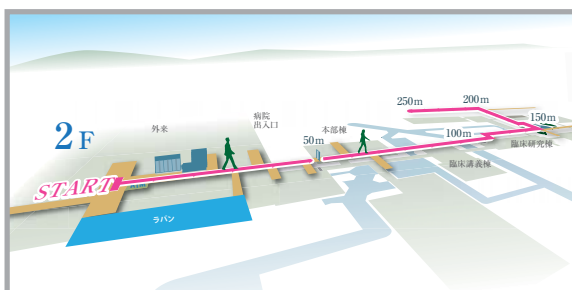
患者満足度向上ワーキンググループ

当院では、入院・外来患者さんにアンケートをさせていただいており、お寄せいただいたご意見・ご要望に対しては、該当部署で検討し、対応してきました。意見等の中には、病院全体で検討し迅速に対応すべき事項もあり、この度、患者満足度向上ワーキンググループを立ち上げ検討することとしました。

その第一弾として、入院患者さんから病院内に散歩コースが欲しいとの要望に関しまして、図のように病院南側の屋外コース（A）と雨天でも散歩できるようキャンパス内渡り廊下を利用した屋内コース（B）を設定しました。環境面で整備する点もありますが、早急に整備し、患者さんの安全確保に努めながら、体力増進のためにご利用いただきたいと思ひます。



病院内ウォーキングコース Bコース（往復500m）



島大病院ニュース
2015年12月

お知らせ

病院ボランティアさんにお世話になっています

当院では、1998(平成10)年4月より患者さんにより快適な環境で安心して治療を受けていただけるよう、病院ボランティアさんにお世話になっています。現在20名(元職員8名)で様々な活動をしていただいています。主な内容は、次のとおりです。

- 総合案内での案内
- 外来受付手続きの介助・支援
- 車いす利用の患者さんの介助および車いすの保守点検
- 玄関ホール内での生け花の展示
- 患者図書室「ふらっと」での本の貸出業務及び病棟巡回貸出の補助
- 小児病棟での読み聞かせや工作活動等の遊び相手
- 玄関ロータリー周辺等の除草・清掃



この他にも、学生や地域の方による除草・清掃活動や、緩和ケア病棟の花壇の手入れ、病院ボランティアコンサートがあります。

ボランティアさんからの声

今日、特定機能病院として多くの患者さんを受け入れるなかで、より快適な環境で外来・入院患者さんを介助・支援するニーズは高く、ボランティア活動の範囲とやりがいも広がっています。医療サービス課をはじめとする職員と円滑な連携を築きながら、お互いに善き刺激を受け、協力し合い、日々心温まるサービスが提供できるよう努めています。

当院では現在、午後から活動してくださる方を募集しています。病院ボランティア活動に興味をお持ちの方、またこの機会に活動を開始したいと思われる方はぜひ **TEL：0853-20-2069** までご連絡ください。



お知らせ
島大病院ニュース

平成27年12月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



お知らせ
島大病院ニュース

平成27年12月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



病院ボランティアコンサート

当院では、毎月「病院ボランティアコンサート」を開催しています。

時間 19時～

場所 病院1階 待合ホール

今年度は、下記の方々によるコンサートを開催しました。

- 4月17日(金) 出雲邦舞会 「おかげさま」
- 5月15日(金) 安来節保存会 斐川支部 「山陰民謡と民謡の夕べ」
- 6月26日(金) 出雲交響吹奏楽団 一縁ー 「ご縁コンサート」
- 7月24日(金) 島根大学フローラ室内楽団 「たなばた夕涼みコンサート」
- 8月12日(水) 島根大学邦楽部 「病院ボランティアコンサート」
- 9月18日(金) 合唱団アルページュ 「まめなかね」
- 10月16日(金) 出雲ロータリークラブ 「出雲楽友協会によるソプラノとピアノの調べ」
- 11月20日(金) 創作朗読楽団 Repos(ルポス)
「シンデレラストーリー in IZUMO 吉祥姫(きっしょうひめ)」
- 12月4日(金) 伊藤 誠 「いのちのコンサート 愛・情熱・いのちの輝き」
- 12月18日(金) 島根大学混声合唱団 ※予定
- 1月15日(金) 大社リコーダー倶楽部 ※予定



問合せ先 医療サービス課 TEL: 0853-20-2069



島大病院ニュース
2015年12月

お知らせ

年末・年始の業務体制について

当院は、本年度の年末・年始の休業期間中【平成27年12月29日(火)～平成28年1月3日(日)】は休診とし外来診療を行いませんが、下表に掲げました部署につきましては、年末・年始は表に記載のとおり診療しますのでお知らせします。

部署	月日	12月29日 (火)	12月30日 (水)	12月31日 (木)	1月1日 (金)	1月2日 (土)	1月3日 (日)
放射線治療科		← 放射線治療(照射業務)を実施 →		休診	休診	休診	休診
外来化学療法室		予約のみ	休診	休診	休診	休診	休診
手術部		← 緊急手術対応 →					
放射線部 (血管業務)		休診	休診	(AM) 透析Shunt 不全のPTA	休診	休診	休診
リハビリテーション部		入院患者さん のみ実施	入院患者さん のみ実施	休診	休診	休診	休診

- 上表以外の部署においても、宿日直体制等により対応させていただくよう体制を整えています。
- 緊急の場合は、救命救急センターで診療を行っています。



平成27年12月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2015年12月

お知らせ

心臓手術後やICUのリハビリを充実させます

リハビリテーション科 診療科長 馬庭 壮吉
まにわ そうきち

① 心大血管リハの拡大

当院では平成 24 年 12 月から心大血管等リハ料 I の施設基準を取得し診療を開始しました(図 1)。その後、年々対象患者数が増加しています(図 2)。疾患内訳は、循環器内科では慢性心不全の急性増悪 50%、心筋梗塞 30%、狭心症 10%であり、心臓血管外科ではバイパス術後 50%、弁置換・形成術後 20%、大動脈解離 20%となっています。リハ開始は手術例では術翌日のことが多く、全体では入院後 7.2 日からの開始となっています。今年度の入院患者さんで機能的自立度評価表(FIM、“している ADL”の評価法、126 点満点)による評価を行ないますと、リハ開始時 54.9 点から終了時 112.2 点と大きく改善していました。

外来リハは、最も効果が期待できる冠動脈疾患患者さんを中心に実施しており、平均継続期間は 5 ヶ月でした。今後は循環器内科、心臓血管外科との連携をすすめ、再発予防・予後改善につながる外来リハを充実していきたいと考えています。



図 1: 心臓リハビリテーション

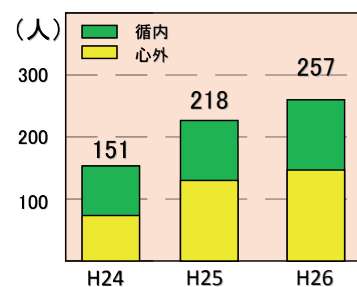


図 2: 心臓リハビリ患者数の推移

② ICUでの早期リハビリの開始

術後や救急外来からの患者さんの合併症予防、ICU 在室日数の短縮、QOL 改善を目的として、ICU での早期リハに注力しています。ICU カンファレンスに当方のスタッフが参加しリハ開始のタイミングをうかがっています。さらに迅速化を図るため、ICU 医師から直接リハ指示書を発行して頂けるように運用方法を検討しています。

③ 出雲リハケアネットとFIMの普及

急性期から在宅までのリハで顔の見える双方向性の連携を作るために、“出雲リハケアネット”が組織されました。当科の酒井康生 助教 が中心となって在宅リハに関与する職種の勉強会を開催し、連携に重要な情報共有ツールとして FIM の普及を行なっています。FIM はリハ効果の判定に有効であるだけでなく、生活期(維持期)の患者さんが急性期病院に入院された際に、リハゴールの設定にも役立ちます。そのために“出雲圏域版 FIM ポケットマニュアル”(図 3)を作成し普及に努めています。“お薬手帳”並みに重宝されるようになることを願っています。



図 3: 出雲圏域版 FIM ポケットマニュアル

問合せ先 リハビリテーション部: TEL 0853-20-2457



島大病院ニュース
2015年12月

お知らせ

世界糖尿病デー(11.14)に出雲大社御本殿を青い灯で照らしました!

出雲大社ブルーライトアップ実行委員会 委員長 守田 美和
もりた みわ
(島根大学医学部附属病院 内分泌代謝内科)



11月14日は“世界糖尿病デー”であり、シンボルマークは「ブルーサークル」です。「ブルー」は国連や空、「サークル」は団結を意味します。この日は糖尿病啓発のため、世界中で有名な建物をブルーで照らすイベントが開催されます。

私達は、なんと出雲大社御本殿(国宝)、宇迦橋の大鳥居、旧大社駅(重要文化財)を青い灯で照らしました。点灯式には降っていた雨が止み神々しい雰囲気の中ライトアップを行うことが出来ました。



その他、旧大社駅ではパネル展示等、出雲大社境内では、無料血糖値測定、低カロリーゼンザいの試食、記念講演会も開催し糖尿病の啓発を行いました。

イベントには延べ 2,000 名以上の方にお越しいただきました。さらに、当院や市内医療機関などから 150 名以上のスタッフが団結して運営いたしました。世界糖尿病デーのシンボルマークの「団結」にふさわしいイベントになりました。今回のイベントを通し、多くの方に糖尿病について興味を持って頂き、知識を深めて頂きますことを心より願っております。

最後になりましたが、医の神様である大国主命の元、出雲大社内での開催にあたり、関係者の皆様には深く感謝申し上げます。ご協力・ご支援頂きました全ての皆様本当にありがとうございました。

主催: 島根県糖尿病協会、島根大学医学部附属病院、出雲大社ブルーライトアップ実行委員会

